

広域行政のあり方に係る取りまとめに向けた項目整理

第 1 章 関西広域連合のあり方（短期的な視点から）**I 関西広域連合の設立のねらいと現在の到達点****1 関西広域連合の設立のねらい****2 関西広域連合の現在の到達点**

- (1) 広域行政の推進
- (2) 分権型社会の実現

II 関西広域連合のこれまでの取組**1 7 分野の取組**

- (1) 広域防災
- (2) 広域観光・文化・スポーツ振興
 - ① 観光振興・文化振興
 - ② スポーツ振興
- (3) 広域産業振興
 - ① 広域産業振興
 - ② 広域農林水産業振興
- (4) 広域医療
- (5) 広域環境保全
- (6) 資格試験・免許等
- (7) 広域職員研修

2 企画調整の取組**3 分権型社会の実現に関する取組****III 関西広域連合の強化に係る提案****1 関西広域連合の組織の強化**

- (1) 企画調整機能の充実・強化
- (2) 人員体制の強化
- (3) 財源の確保
- (4) 認知度向上に向けた情報発信機能の強化

2 多様な主体との連携強化

- (1) 国との多様な関わり方
- (2) アドホック（臨時的・専門的）な組織の活用
- (3) 広域ネットワークの形成・構築

第2章 将来に向けた広域行政のあり方（中長期的な視点から）

I 関西における広域行政の意義と役割

1 関西における広域行政の検討にあたっての背景

- (1) 社会経済状況の変化
 - ① 世界・日本の中の関西
 - ② 関西における人口構成の変化
 - ③ 関西の自治体の状況
- (2) 関西の魅力と資源
 - ① 自然環境、歴史、文化
 - ② 教育・人材育成
 - ③ 産業分野
 - ④ 住民生活
- (3) 関西における人口減少の影響
 - ① 行政サービスのあり方と地域固有の課題の顕在化
 - ② 地域社会のさらなる多様化

2 関西における広域行政の意義と役割 ～圏域の安定・発展と国の中での役割の発揮～

- (1) 圏域の各主体を巻き込む「多様性」を活かせる企画調整機能の発揮
- (2) 広域行政の強化による圏域自治体の調整・支援
- (3) 関西広域連合のある関西から取組を開始（国の中で関西が担うべき役割）

II 関西における広域行政体のあり方

1 関西広域連合の設立経緯

2 関西における広域行政体の検討にあたっての視点

- (1) 「関西」の特徴を活かした「関西」にふさわしいもの
- (2) 地方自治、地方創生の理念を実現するもの
- (3) 二重行政ではなく、広域行政としての役割が発揮できるもの
- (4) 国との役割が明確となり、それぞれが最大限の機能を発揮できるもの

3 関西における広域行政体の姿

- (1) 特別地方公共団体のまま企画調整機能を強化する形
- (2) 特別地方公共団体の枠組みを活かして強化する形
 - ① 政治的リーダーシップを強化する
 - ② 法的な面を強化する
- (3) 普通地方公共団体に近づける形